

議会だよ入善

GIKAI DAYORI NYUZEN



80代の踊り子も舞台を
彩った手作り敬老会(上原地区)



6月定例会

- ☆ 一般会計の概要……………2P
- ☆ 常任委員会レポート……………4P
- ☆ 一般質問(7議員)……………6P
- ☆ 行政視察レポート……………14P
- ☆ ありやどうなっとるがけ?……………16P
- ☆ 傍聴席からひとこと……………18P
新正副議長対談

No.97号

1996年8月1日
(平成8年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入善3.255
☎0765(72)1100 ㊟0765(74)0067

特別養護
老人ホーム

入所待機者に朗報

ミドルステイ実施

積極的な対応・県下に先がけ

6月定例会は、6月19日から28日まで10日間の会期で開かれた。
一般会計を歳入歳出それぞれ1億8999万1000円を追加し、総額を104億9849万1000円とした。

国民健康保険特別会計は、歳入歳出それぞれ8277万5000円を追加し、総額を17億2507万5000円とした。

老人保健医療特別会計、下水道特別会計もそれぞれ補正した。
歳出の概要は、次のとおりである。

在宅介護支援に ミドルステイ 事業

ショートステイとの組み合わせで、1人3カ月まで舟見寿楽苑へ入所できる。県が今年度導入した新規事業で、県と町がそれぞれ負担する。
(583万8000円)

東部保育所 駐車場用地の 取得と整備

児童館として建設したものでないため、使いにくい施設である。隣室との壁を取り払って遊戯室を広げる。併わせて、ちびっこ教室に集まる若い母親たちの要望

児童館の 遊戯室が広く なる

駐車場がなく不便であり更に進入路の危険性も指摘されていたので、住宅の移転に伴い、跡地を購入し、駐車場として整備する。
(854万円)

下山発電所 美術館の企画 内容を充実

8月10日から開催される「庄司 達展」が文化庁の補助対象事業に指定されたことにより、日本文化振興基金から100万円の助成を受け、企画内容を充実する。
(157万8000円)

に比べ、流し場も整備する。
(199万円)

▲「バナナを食べようネ」(舟見寿楽苑)



国民健康保険税

世帯割3000円引き上げ

国保財源を確保するために、一世帯当たり3000円引き上げる条例改正を、賛成多数で可決した。

これにより町全体で900万円程度の増額となる見込みである。

一方、所得の低い層の加

入者に対する軽減額や算定基準限度額の引き上げも、同時に改定された。

町の国民健康保険事業は、人口の高齢化を背景に、医療費の支払負担が増嵩し、予算の増額を余儀なくして

いる。

町の医療の実態を見てみると、一人当たりの医療費や受診率、一病気当たりの通院日数が、ともに県内上位の位置にある。



▲ 狭いから廊下で (児童館)

税率は次のとおり。

	平成7年度	平成8年度
所得割	総所得金額の $\frac{8.3}{100}$	同じ
資産割	固定資産税額の $\frac{28}{100}$	同じ
均等割	1人当たり 20,400円	同額
平等割	1世帯当たり 20,400円	23,400円
限度額	520,000円	同額

「ふれあい交流プラザ」の建設について 中間報告

町は以前から、自治省指定のリーディング・プロジェクト事業として「ふれあい交流プラザ」の建設計画をすすめている。

リーディング・プロジェクト事業の狙いとする基本的な視点は、次の通りである。

当初、現在の健康センター跡地に計画していたが、審議会の意見等を参考に検討した結果、用地が狭く、駐車場等の確保が困難であり、5000坪の用地が確保できる総合体育館周辺が望ましいとの方針を出した。

①少子化、高齢化が急速に進展し、地域活力の低下が懸念される中、保健・福祉の一元化を図り、福祉の充実をどのように図るか。

これに対し、去る3月の第17回議会定例会に、入善町リハビリ友の会、二十四軒町商栄会、中町共栄会、銀座商盛会から各々、会長名で、町の中心部にある健康センターと旧公民館跡地に建設を求める請願書が提出された。

②公立病院のない町として、「ふれあい交流プラザ」をどのように位置付けるか。

議会は、これを受けて、地域活性化対策特別委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

③将来に禍根を残すことのない施設の規模及び機能の構成や形態は、どうあるべきかなど種々な角度から検討を行う。

同委員会は、3回の審査を重ね、今回の6月議会で委員長より、次のような中間報告があった。

結論としては、公立病院のない町として、今後は、保健・福祉の一元化を推進していくためには、保健・福祉の中核施設とする。

将来を展望した場合、総合体育館周辺に新たな場所を求め、施設の総合的、かつ有機的な整備を図る必要があるとし、委員会審査の中間報告とする。

(地域活性化対策特別委員会) 委員長 石川 昭男

常任委員会レポート

6月25、26日の2日間で総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催され、付託された議案を審議した。特に今回は、特別職給料と議員報酬の引上げ案件と懸案の「町民ふれあい交流プラザ」に論議が集中した。その要旨を報告する。

総務

消防署救急隊の 競技会で富山県 代表となる快挙

日頃、3万町民の生命と財産を守っている町消防署員が、先に実施された「富山県救急隊技術競技大会」で入賞し、富山県の代表4チームに選ばれ、7月18日、京都で行われる東近畿大会に出場する。旅費の補正が提案されたが、委員の中から、町の榮譽であり、もっと顕彰すべきでないかとの意見が出された。日頃の訓練と業務に対し敬意を表する。

特別職給料、議員 報酬の引上げは 意見が分れる

県下の町村の実態と、人口、財政状況等を勘案し、特別職報酬等審議会の答申を受け、2年連続の引上げが提案されたところである。委員の中から、景気の低迷から民間では、リストラの渦中であり、2年連続の引上げは反対である、との意見と、審議会は、県下の状況を検討した結果であり尊重すべきではないかという意見に分れ、採決の結果、賛成が僅かに上回り、可決した。

悲惨な事故を防止する期待を込めて、37万円を補正した。

高齢化社会に対応 し、2カ月のミドル ルスティ実施

入善町の高齢化率は20%を突破した。特養施設へ入所を希望してもすぐ入れない人も増えている。その人達のためにも、一人2カ月を基準として、ミドルスティ事業を県下2番目に実施することになった。ショートステイ1カ月を加えると3カ月まで対応できる。先駆けて取り組んだ姿勢を高く評価する。

医療費の国庫 負担率を45% に還元させよ

国民健康保険の応益割が増えることは低所得者の負担が重くなることであり、町当局は38・5%に削減された国の負担率を元の45%に戻すよう機会をつくり、強力に要請された。

老人福祉センター の入所料引上げは 慎重に

高齢者の要望に応えられない。

文教・厚生

交通事故防止に ピカピカシール を全戸に配布

町民を交通事故から守るため、8038戸全世帯に反射材シールを配布する。

左記の意見書を国に提出した

治水事業の推進を求める

治水事業は、生産基盤整備の中で、最も優先しなければならず、平成9年度を初年度とする第9次治水事業5カ年計画を策定し、積極的な投資を確保すると共に強力な推進を図られるよう強く要望する。

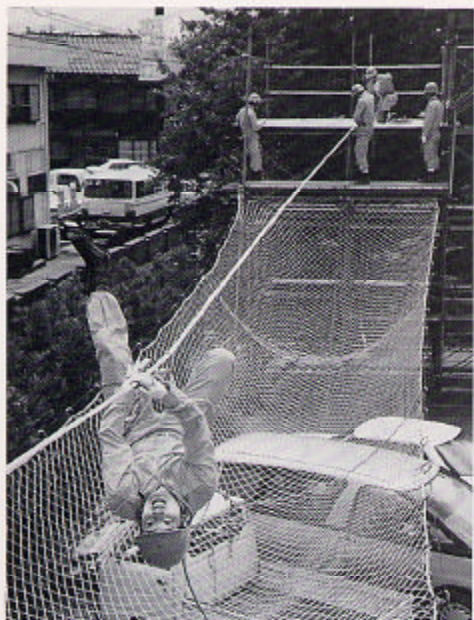
入善町農業委員会

新委員決まる

(任期3年)

農業委員の任期は、7月19日満了のため、法第12条第2号の規定により、町長より学識経験者5名の推薦依頼があったので、次のみなさんを選任した。

- 山本 外輝雄 (舟見)
- 高田 栄 進 (上野)
- 谷 博 俊 (古黒部)
- 梅 津 芳 朗 (今江)
- 大野 松 良 (上飯野新)



▲ 大会出場に向け、今日も訓練

産業・建設

海岸防災林の造成用地 をよつやく購入

昨年度の事業が、今年度にずれこ

んだものである。

計画段階で地主の確認など、事前
に十分調査し、事業を遅延させるこ
とのないよう留意されたい。



▲ 急ピッチで整備される幹線道路

舟見七夕まつり

花火大会に

100万円補助

昨年中止され、地区民はもとより
近隣市町の人たちからも、復活が望
まれていた。

舟見地区自治振興会などからの請
願を受け、補助金を予算化した町の
素早い対応は高く評価する。

下水道事業早まる

平成9年度の子定が、8年度後半
から着工になることから、中央通り
線の関連事業が進められる。N T T
北陸電力等との共同工事は、経費の
節減にもなり、財源確保の面でも高
く評価する。

舟見城址館の

ポンプ修繕

凍結により亀裂が生じたため取り
替えるものである。

冬期間の管理には、十分注意し繰
り返さないよう留意されたい。

みなさんの請願・陳情の

ゆ
く
え

今定例会に提出された請願2件、陳情
4件の審査結果は、次のとおりである。

○町道、困堀線の拡幅改良の請願

採択

○芦崎地区水道組合設立に関する請願

採択

○雪害によるハウスの復旧助成等、更新
における融資対策についての陳情

採択

○旧柵山住宅地域の道路拡幅の陳情

採択

○「定住外国人の地方参政権」に反対
する陳情

継続審査

○町道拡幅改良に伴い両側路肩コンク
リート擁壁の同時施行についての陳
情

採択

いっぱい質問



▲ 囲碁で頭脳も若がる (盛況の老人福祉センター)

第19回 定例会 7人の議員が登壇

町政を問う

住専国会、閉会後の6月24日、6月議会の一般質問が行われた。質問の大半は、今後の町政の基本を問うものが多く、町の活性化を求めた。

主な論戦の内容は、次のとおりである。

- 新川拠点都市の基本計画について
 - 今後の転作の在り方について
 - 予算執行と活性化対策
 - 水資源対策と出し平ダム対策
 - 舟川治水ダムの調査について
 - 「アグロピア21」と入善町農業の展望について
 - 女性施策・商店街の活性化対策
- などについて、当局の対応を求めた。



▲ “ごみ.. 生かそう、大切な資源

水路の改修は多自然型工法で

九里 郁子 議員（日本共産党）

町長

これからの課題である



▲ 自然にさからう、コンクリート河川

問 排砂式ダムの運用が十分検討されていないもどで、出し平ダムのすぐ下流に建設省が強引に工事を続行することは、出し平ダムの排砂の社会的、自然的影響を免罪し、批判をかわずたためものと言わざるを得ない。水道水源として必要だと町も同意したが、水利権や費用負担はどうなるのか。町民は地下水を使い続けたいと願っている。町民の地下水汲み揚げ量の約4・7倍を汲み揚げている「企業の社会的責任」をどう考えているのか。水路の改修は多自然型工法など、地下水の保全と涵養こそ必要である。

舟川ダムは本当に必要かを含め徹底した影響調査をしているか。町長 宇奈月ダムは洪水調節のため止むを得ない。50年後、100年後のために取水権を確保しておくことが必要と思う。

地下水規制は1市3町の条例化が必要である。地下水の保全と涵養は、これからの課題である。

舟川ダムの環境調査は十分やっているとと思う。今年度中に舟見地区の意見を聴く機会を持ちたい。

五十里助役 宇奈月ダム建設費のうち、水道水源としての費用負担総額は49億6000万円。町の負担額は約6900万円。ダム完成の翌年度から28年間、毎年250万円負担しなければならぬ。果は関係市町の要望がなければ水道事業はしない。

性格の違った

博物館が

期待できる

問 新川拠点都市地域基本計画とどう取り組むのか、計画どおり進めてよいか疑問である。

「黒部川扇状地全体が博

物館」という考え方があがあるが、町長の所見はどうか。町長 考え方は基本的には賛成である。その核として水博物館を入善町と黒部市にと知事が言明しており、性格の違った博物館を期待する。

大型事業に

町民は不安

問 ふれあい交流プラザは、保健・福祉の拠点施設には程遠い。事業費26億6000万円もの大型事業に町民は不安を感じている。町長 弾力的な運用は可能と考えられる。

県補助金は1億円。90%は起債対象。そのうち50%以上は地方交付税に算入される。

炭カル袋は

見直せ

問 富山広域圏は「半透明であればよい」という指定袋制であり、レジ袋でもよいとしている。炭カル袋の見直しをせよ。

町長 平成11年頃の新しい焼却炉完成までには、十分検討することになっている。

転作に生産性を考慮せよ

早川 誠 一 議員 (自 民 党)



▲ 集団転作・農家の声が生かされているか

新幹線対策は どう進めるのか

問 新幹線の建設は沿線住民に何らプラスとまらない。静かな環境が破壊され、住民に不安と不利益を永遠に残すものである。果や町は、こうした地域にどのような対策を考えているのか、地元対策は、町が先頭に立って考えるべきだ。昨年3月の測量は、合意の測量ではなく、今後、対策の示されない建設には同意できない。また、測量の結果が、未だに報告されていない。町は今後の地元対策と、測量結果の報告のない点についてのどのように受け止めているのか。

町長 新幹線は、沿線や町にとっても、そう有為なものとは思わない。

しかし、何事も多少の犠牲の上に成りたつものであり、住民のご協力を願いたい。対策については、今後住民の皆さんの協力を得ながら進めたい。測量の結果については、今年7月下旬頃と聞かすが、公団の説明を受け、今後の対応に努力したい。

集団転作は、 農家の生産性の 低下になる

問 今年度の転作は、昨年を大幅に上回る、6万6725㌥が配分された。

新食糧法では「作る自由、売る自由」が認められたが、何一つ変らないのはなぜか。

転作は、農家の自主的なものとされているが、せめて、もっとやり易く、生産性の高まる方法がないか、検討すべきである。町の集団転作率は84・7%と聞くが、集団転作の及ぼす影響は極めて大である。集団のため自分で転作できない農

家や、生産性の低い農家が転作から取り残され、作物全体の生産性が大きく損なわれている。転作にも作る自由が与えられるべきだ。来年の転作には、生産性を高める方法を検討せよ。

町長 転作は、当面止むを得ないのではないか、国や果は、現在団地主義のようだが、画一的な転作方法はどうかと思われる。

来年度の方法等については関係者と協議して考えた

い。

松島農林水産課長 団地の問題については、農協や関係者と協議して、団地内で選択していきたい。

メモ

「転作」について

「新生産調整推進対策」は平成8年度から10年度までの3年間、(1)生産調整の着実な実施 (2)生産者、地域の自主性の尊重 (3)望ましい営農の実現を重点に進められる。

生産調整面積はガイドラインとして、国から都道府

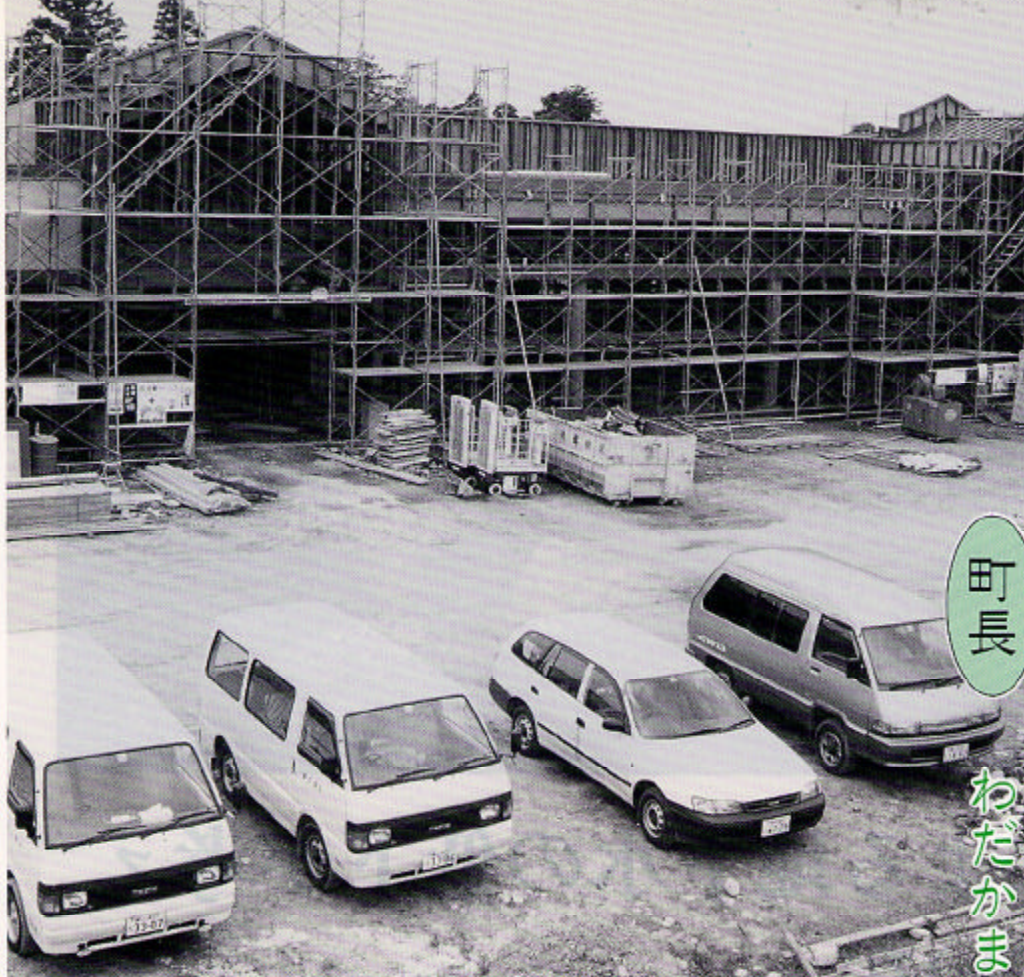
県、市町村、農業者へと順次示される。市町村段階では、農協等も加わり、実施方針を作成して農業者に提示され、地域内や市町村間都道府県間の調整を行い、ガイドラインの補正をする。また、ブロックローテーションや、とも補償については、農協等の積極的な指導を期待している。

商工会と連絡を密にされたい

広瀬 喜代志 議員(自民党)

町長

わだかまりを捨て、話し合いたい



▲ 競争激化・開店間近いショッピング・タウン

町 町の基幹産業である農業問題であるが、今後売れる「米づくり」が主流となってくると思われるが、その対策を伺いたい。

町長 米に関しては、売れる米を作ること、どうして作るのか、また宣伝をいかにすべきかなどを関係する皆さんと十分相談して対応したい。

問 三極化しつつある商業地の活性化について、商工会とかが町が連絡体制を緊密にするかを問いたい。

町長 商工会については、多くの課題をかかえている。平成二年には県下で初めて商工振興審議会を条例化し、委員会や各会合に出て意見を述べている。わだかまりを捨てて話し合いをしたいと思います。補助金についても小規模事業指導で、

人件費の半、約1750万円、その他の補助として、約3330万円を出している。何よりも農協、商工会、町が一体となって活性化に取り組みべきだと思っている。これからの商工会は、社会一般の福祉の増進に寄与する新しい事業だと思っている。

問 中央通り線の事業に向けて大変な努力をしておられるが、今後の方針を聞きたい。

町長 中央通り線の公共事業については、いま、県にお願いをしている。今年度中には、駅から上町君島線が完成し、その後は第二期として8号線まで進めたい。今後は、線だけでなく面的な効果をねらった都市の再開発をして行きたいと考えている。

入善町の
米は
食味が良く
好評——これからも持続を!

平成7年度の入善産米は全国市場で特Aにランクされ、販売が順調である。産地間競争が激化する中、これからも消費者に喜ばれる米作りが期待される。以下JA入善町の杉田常務にお伺いした資料を紹介する。

7年度米売渡
(集荷)数量

一般米うるち 462、588袋

一般米もち 7、447袋

他用途米うるち 13、261袋

他用途米もち 3、041袋

平成8年6月
在庫数量

自主流通米 8、333袋

政府米 18、285袋

他用途米 3、016袋

▶ 地下水に悪影響？陸掘り対策は……



排砂による地下水の低下が考えられないか

岡 島 功 議員(自 民 党)

町長

若干の影響が考えられる
検討委員会に提起したい

町長 入善町一円で地下水の異状低下、沿岸部での塩害化等、出し平タムの排砂の影響が考えられるが、検討委員会で対策を提言する考えはないか。

町長 地下水は、町民の共有財産であり、過去、ほ場整備や、用排水の三方コンクリート化などで、浸透減少が考えられる。出し平タムの排砂による一時的な影響は断定できないが、水位低下等、若干の影響が考えられる。

町長 これらを踏まえて、検討委員会で問題を提起したい。間 地下水位、低下の要因と考えられる陸砂利採取の規制及び対策に取り組む考えはないか。

町での規制は
難しい

町長 入善町において、過去の土砂採取量は、22万2500㎡、130万㎡で若干、地下水脈に影響があるものと思われる。

町長 土砂採取に際しての農地転用は、県知事の認可権であり、町での規制は難しいので、県の規制が必要と思う。

町長 入善町は従来、地下水の豊富な町と言われて来たが、生活用地下水、工業用地下水条例等の利用規制を計画する考えがあるか。

町長 地下水は、黒部川扇状地、一市三町の共有財産であり、入善町だけの規制では効果が上がらないと思

われるので、一市三町の規制が必要である。

町長 地下水協議会で黒部市長等と呼び掛けたい。

町長 また、地下水対策として、冬場は水田の水張りを働きかけた。

町長 今後、本格的になる下水道事業において、震災対策製品を採用する考えがあるか。

対策は
万全に

町長

本多下水道課長 阪神・淡路大震災以来、ライフラインの確保が、社会問題化している。入善町においても、今後の下水道事業について配管、及びジョイントのゴム製品化、マンホール周囲の砂充填等、建設省の指針に基づき、実行していきたい。

町長 マンホール蓋のデザインの公募の考えはあるか。また、意匠権の在り方について示せ。

町長 テザインのPR等を通じ、町民への理解を求めていきたい。

町長 また、意匠権等の法的措置については、今後共、考えていきたい。

舟川治水ダムの地質調査の結果を示せ

西尾 政 巳 議員(自民党)

町長

ダムは多目的で

中流地点を予定している



▲ 予定される中流地点

問 舟川ダムは、総額100億円で、ロックフィル式ダムで、貯水量は60万トンであると聞いている。

地質調査は、当初計画より下流の「流小屋」地区で行われている。この地区でダムができる可能性や地質調査の結果、あるいは貯水量について伺いたい。

町長 ダムは洪水カットの目的だけでなく、舟見地区は消雪用の水が足りないもので、上中下の3カ所でボーリングをしている。下流の地盤は軟弱なため、中流の方でダム建設を予定している。

問 某採石業者が、ダム建設予定の上流の方で採石さ

せてほしいと、再三にわたって森林組合に申し込んでいるが、町はどのように対処するのか。

町長 初耳であり、舟川は2級河川で、県が管理しているの、今後注視したい。

新川拠点地域

の基本計画は

問 新川地方拠点都市地域の基本計画によると、地域全体の面積の3%は宇奈月・朝日・入善の3町で占めているのに、拠点都市の中心が魚津市及び黒部市と明記してあるのはなぜか。

町長 下新川3町は付け足しで、「さしみのツマ」のような扱いを受け、県に反発した時期があった。市には、核が2つあり、入善町には、1つの核と差があるのが県の指導方針である。

町有施設の

維持管理は

どうか

問 町で計画している「ふれあい交流プラザ」の従業員数は、何名を予定しているか。

また、町有施設の維持管

理費は全体でいくらか、財政硬直化にどう対処されるのか、増税なき町財政の運営を期待する。

町長 「交流プラザ」は病気になるための健康増進施設であり、ドクターを一人採用し、職員は必要最少限に努める。

管理費増大の対応は、文化振興財団へ移管も検討する。

また、軽作業的なものについては、シルバー人材センターを積極的に活用する。

問 地方拠点都市の指定を受けたが、その利点を聞きたい。

平崎企画財政課長 都市機能を高めるだけでなく、各市町が機能を分担し、どのような事業で取り組みをいかを総合計画の中に取り入れていく。

問 水博物館の計画について伺う。

町長 今後の課題であるが、県と共同で、新川広域圏でやる予定である。

21世紀の農業をどのように育成するか

本多 幸男 議員（町民クラブ）

町長

専農、

兼農、

集落営農を

バランス良く育てる



▲「評判がいいですよ。」ふるさと産品「つぶぞろい」

問 富山県は新食糧法施行にあたり、21世紀の望ましい農業像を目指して、「アグロピア21」改訂案を提起した。農業を基幹産業と位置付ける入善町は本案をどのように受け止めているか。

町長 大切な事は本指針を入善町農業に照らしてどう応用し、肉付けをしていくかである。町は農地流動化と専業農家の育成に力を注いでおり、基幹産業としての位置づけは変えておらず全力で取り組む。

問 専業農家と集落営農組織の育成に併せて、兼業農家にも希望のもてる諸施策を講ずべきでないか。

町長 農業収支にとらわれず、先祖伝来の田を財産として守りたいという考え方

もある。また趣味と健康づくり的な土日曜農業もあり、兼業の貢献度も無視できない。現実的には、専業、兼業、集落営農、兼業の程度が望ましいのではないか。

定年退職者や女性就農者が生き甲斐のもてる農業にも力を入れていきたい。

問 新食糧法は「作るも売るも自由」が基本理念である。コメの販売で農協離れがおきたり、混乱した時、町当局は、どのような指導をするのか。

町長 消費者や商社に直接売っても違法ではなく、行政指導はできない。しかし、困った時だけ農協に泣きつく姿も困る。要は、JAが「どうすれば農家の利益を守るか」の観点で自主的

「アグロピア21」とは…
 「Agriculture」と「Utopia」を合成し「アグロピア」とした。
 「農業の理想郷」「21」は、めざす「21世紀」の意。

な努力を発揮される事が、最も正解と考えている。

問 転作は、今後も続くと思うが水を張って置くだけの調整水田や額縁減反もカウンタに認可し、農家の選択にできないか。

町長 農家の要望に応えられるよう、県と協議する。

問 JA入善町がコントリビューターを計画しているが、なぜ進展しないのか。

町長 町としては、基本的に賛成し応援しているが、地元で迷惑施設との考え方が一部にあると聞いている。

問 消費者代表も加えて、「21世紀入善町農政審議会」を設置する考えはないか。

町長 担当課で検討させる。

女性の政策決定への参画をどう考えるか



東 狐 和 議員 (町民クラブ)

助役

審議会へ30%以上登用したい

▲初めての女性議会 (4月17日)

問 町長は昨年、北京での第4回世界女性会議の結果をどのように評価し受け止めているか伺う。
町長 高く評価し、これからの入善町男女共同参画の女性施策に役立てていきたい。
問 入善町女性問題庁内連

絡会議が、その後どの程度進んでいるのか。
五十里助役 予算化された女性施策について、どのように具体的に推進すべきかチェックしていく。
問 町民参加による「女性プラン推進委員会」が設置されたか。
助役 4月21日、第1回組織委員会ができて20名の方に委員を委嘱した。毎月1回ずつ開催し、プラン推進の啓発を図る。
問 女性の方針政策決定への参画についての考えを聞きたい。
助役 審議会登用など30%に進めていきたい。
問 女性係の8年度事業は何か。

平崎企画財政課長 女性プランの4本柱は、①平等教育
②女性の社会活動への参加
③就労環境整備、④福祉の向上について町民への普及啓発の促進を行う。そのためには、次の事業を行う。
①女性学講座3回
②女性セミナーブランドイジェスト版
③女性議会等を行う。
問 女性議会で町政の仕組みを学び、女性の声を議会に反映させるための議場が女性に開かれたいのはなぜか。

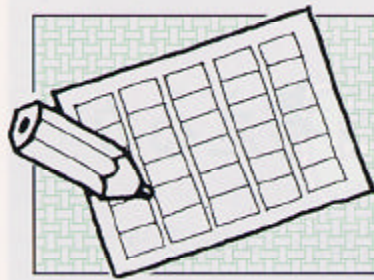
か。
町長 議場は議長に権限がある。
問 開かれた町政の推進を図るため、町長室を解放する考えはないか。
町長 年がら年中、解放し何時でも来て頂きたい。
問 商店街の活性化に本気の取り組みはあるのか、また固定資産税の見直しが必要でないか。
町長 自動車時代に対応した駐車場の確保ができず、町の一極化から三極化態勢となろう。固定資産税評価審議会などで納税者の納得のいくよう広報でPRする。
問 平成8年度の国民文化祭の計画と進捗状況はどうか。
鍋谷生涯学習・スポーツ課長 10月5日に本町は、室



いらっしやいませ!!

— 開かれた町長室 —

内楽を中心にした音楽の発表会がコスモホールであり、県内3団体、県外3団体の出場申し込みを受け、NHKや海外からはウラジオストク民族音楽が出演する予定である。
問 女性の再就職に対する支援体制を問う。
町長 県と町が協力しながら中高年齢者を技能訓練し、その成果を生かすようにしたい。
問 県内文化ホール28館の共同イベントの企画は何か。
生涯学習・スポーツ課長 各ホールの自主事業が競合しないために連絡調整し、3館で落語会、6館の共同企画でオーケストラ公演、ネットワーク公演、桐朋オーケストラアカデミー公演の企画を調整中である。



行政視察 レポート

五色県民健康村にある健康道場は、ファースティンク（医学的絶食療法）を行いながら、新心身健康医学を身につける全国で初めての公的専門施設である。

昭和57年の開設以来、すでに1万4443人が利用している。

絶食療法の健康道場を視察

6月4日から7日まで、3泊4日の日程で、三常任委員会合同の行政視察をした。視察先は、広島県宮島町と御調町、兵庫県五色町である。



▲「健康道場とは」 説明する道場長

財団法人「ひょうご母子の協会」が運営している。道場長の笹岡医師から、「現代はストレスから成人病になるケースが多い。絶食することは心身相関を高めて、生命力や充実感を蘇らせる最強の方法である」と説明を受けた。

（総務常任委員会
副委員長 福沢憲一）

絶食期間は、7日間、11日間、16日間、20日間の4コース。入所期間の半分を絶食期に当て、その期間は一杯100gの特製ジュースを朝、昼、晩の3回飲むほか、脱水を防ぐために水を1日に2L飲む。蓄えた体の脂肪やたんぱく質を消費させることにより、自律神経系や内分泌ホルモン系が活性化する。「ふれあい健康プラザ」の中に、こんな施設があればと話しながら帰途について。

森と海に映える 浄化センターを視察

広島県宮島町は、日本三景の一つ、厳島神社の所在する町で、年間約300万人の観光客の訪れる観光の町である。この町の公共下水道事業は、瀬戸内海の水質汚染や海辺の汚れが目立ち始めた昭和50年に着工、同63年に完成した。

下水道施設の半分は、観光客が利用するので、工事は町民に負担させることができず受益者負担はない。使用料は、1t当たり300円で、3年毎に改定される。平成7年度末では、水洗化率97.2%に達している。中には、老人家庭や、経済

的理由で未加入家庭もあり、下水道事業の困難さが見受けられた。入善町でも、事業区域の設定、工事の概要など、充分な計画と住民の理解と協力が大切だと痛感した。

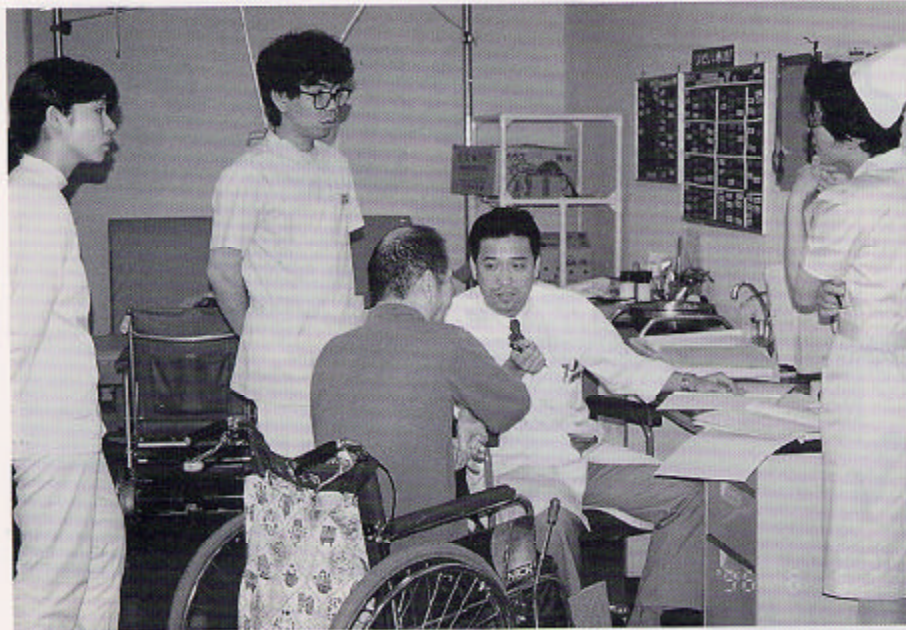
（産業建設常任委員会
副委員長 東狐 和）



▲ 宮島町浄化センターにて

日本一の

健康づくりのまちを視察



▲ スウェーデンからも見学者 健康管理センター

御調町は広島県の東南部に位置し、人口約8400人の農村地帯である。

町では、医療は治療のみならず保健福祉をも視野に入れた包括医療が望ましいとの理念から、公立みつき病院を核とした、包括医療の実践を行ってきた。昭和49年から訪問看護を開始し、その後訪問リハビリを行い、全国でもめずらしい。医療の「出前」を開始した。更に、医療と行政の保健福祉のドッキングを目的として、病院に行政部門の健康管理センターを併設してサービスの一元化を図ると共に、次の段階として個人介護計画の作成に向けて、専門スタッフによるケースの検討が行われ、更にケアマネジメントの機能を有する地域ケア会議によつ

て、保健医療福祉サービスが必要なだけ提供されている。

御調町では、病院と健康管理センターに老保施設、在宅介護支援センターを合築し、これにリハビリセンター、医師会、住民ボランティア等が加わり、地域包括システムを構築している。こうした努力により、寝たきり老人が1/3に減少し、医療費もダウンするという効果がでている。これらの実績を視察するにつけ、入善町においても核となる総合病院や、補助金、人材確保の問題など多々あるが、将来に向けた実践が一番と痛感した視察であった。

文教厚生常任委員会
副委員長 岡島 功

「健康で心ふれあう」

福祉施設の視察

地域活性化特別委員会は、4月9日より東京、仙台の視察に引き続き、5月16日～17日には、滋賀県野洲町、京都府久御山町など3施設を視察し、町民の健康づくり、福祉・保健事業の推進に役立てたいと各地を見聞した。施設はそれぞれの市町が、将来の福祉向上の在り方をテーマに、福祉・医療・介護などの一体化に真剣に取り組まれている姿勢に感銘を受けた。

町の規模に違いがあっても、各々が実態に見合った適正規模として、狭い立地条件の中でコンパクトに機能化されていた。高齢者が身障者など社会的弱者の立場にある人々などの利用者の安全性や利便性に細やかな配慮がなされていたことなど、多くの参考になる点があった。

押し寄せる高齢化対策に向けて、わが町でも、健康センターを充実させるため、「ふれあい交流プラザ」の建設が予定されており、町民の健康・保健・福祉を一体化させ、更に少子化対策、介護支援、ボランティア等、総合的施設として、21世紀を目指した生活空間をも視野に入れた施設の建設が期待されている。

地域活性化対策特別委員会
委員 東 狐 和

なつとるがけ？



▲ アイディア生きる町民会館

財団法人に

ついて

問1 町が委託している財団法人ちや、どいもんがあるがけ。

答 体育協会と文化振興財団の2つです。

問2 いつできたがけ。

答 体育協会は平成5年5月6日、文化振興財団は平成6年3月30日に各々、認可されました。

問3 どい仕事を委託しとるがけ。

答 体育協会には、総合体育館の管理運営と年間事業運営、文化振興財団には、町民会館、中央公民館の事業運営とコスモホールの自主事業を委託しています。

問4 その財団法人の経営状況はどうなつとるがけ。

答 文化振興財団は平成7年度決算で収入額、8335万円、支出額、7765万円で黒字分の570万円を町へ返納しました。体育協会の平成7年度決算は、次のとおりです。

- (1) 体育協会収支決算
 収入額 2299万円
 支出額 2228万円
 71万円を繰越す
- (2) 総合体育館管理運営
 収入額 3337万円
 支出額 3262万円
 75万円を町へ返納
- (3) 扇状地マラソン会計
 収入額 699万円
 支出額 690万円
 9万円を繰越す

老人福祉センターの入所料金について

問1 なんで値上げするがけ。

答 町は以前より、町公衆浴場組合と入浴料金の設定についての申し合わせがあり、今回の一般浴場料金の値上げに準じて行う。

問2 いつから、どれだけ上がるがけ。

答 今回、一般入浴料金は、4月1日より330円となった。これを受けて、町では10月1日より250円から300円になります。

問3 手持ちの回数券はどうなるがけ。

答 手持ちの回数券は10月以降もそのまま使用できます。また、回数券は9月一ぱい旧価格で購入できます。

なぜなぜ問

ありがとう



▲ 身も心もリフレッシュ
(バス来たよ — 老人福祉センター)

新川地方拠点都市の 指定について

問1 新川地方拠点都市ちや、どこけ。

答 魚津市、黒部市、入善町、朝日町、宇奈月町の2市3町です。

問2 指定されて何するがけ。

答 2市3町の特性を生かし、「都市機能集積ゾーン」、「水と緑の文化ゾーン」、「自然とのふれあいゾーン」を設定し、計画的に事業を行うものです。

問3 各市町は具体的に何するがけ

答 魚津市と黒部市は、都市の核とし、商業、行政機関、工業、国際交流などの推進策を講じ、都市的空間を創立します。

入善町は扇状地うるおい交流の核施設と「水と緑」をテーマに置きます。宇奈月町と朝日町は黒部峽谷温泉、ヒスイ海岸を最大に生かした観光開発を進めます。

議案第25号

入善漁港海岸保全施設整備(その7)の
工事請負契約

水深15・5×10・5mの潜堤工事で、捨石投入後捨石均しを行い、異形ブロック154個を据え付ける。
6458万1000円で俵飯作組と契約。

議案第26号

入善漁港海岸保全施設整備(その8)の
工事請負契約

(その7)と同じ潜堤工事を、6159万4000円で広川建設工業(株)と契約。

議案第37号

ふれあい交流プラザ(仮称)建設用地を
取得

ふれあい交流プラザ(仮称)の完成は、平成11年9月頃に予定している。
その建設敷地の一部に、入善町上野二、七九五(9065㎡)を1億756万5290円で購入した。

『新正副議長 抱負を語る』



浜田隆志さん
(横山)

「議会だより」に触発されての傍聴でしたが、真剣な論議の様子を目のあたりにして、地方分権を推進する担い手は町議会であることを痛感しました。

七人の侍」による質問は、総じて、施策の提言をかねた質の高いもので、特に、両女性議員の奮闘は定評どおり。これからも、地域エゴを排した先見性のある鋭い発言を期待したい。

一方、町長の答弁は、自前の言葉でわかりやすく、時にはジ



6月28日金、私約交代により議長、副議長が誕生し、就任の抱負や当面する政治課題などを語ってもらった。

就任の抱負

五十里隆章議長

潤滑な議論と対話のできる環境づくりと議会の権能を高める努力をしたい。

早川誠一副議長

町民は常に議会を見ているとの気持ちで議会制民主主義に添い、努力したい。

政治信条

五十里議長

是々非々。

早川副議長

町政は町民のためのもの。

当面する政治課題

五十里議長

(1) 下水道の早期着工・完成。

(2) 道路網の整備(湾岸、大北等高規格道)。

(3) 福祉施策の充実。

早川副議長

(1) 高齢者対策。

(2) 下水道事業。

(3) 農林水産業の活性化と商工業の振興。

町の将来像

五十里議長

水と緑を守り、農業を中心とした心豊かな町。

早川副議長

「ふるさと入善」を誇れる水と自然を生かした町。

執行部と議会の関係

(1) 監視、議決機関としての

議会の在り方と現状

(2) 執行部に求めるもの

五十里議長

(1) 議論を尽くし、是々非々の議会であるべき。

(2) 計画策定の段階から、議会との連絡調整を図るべき。計画の変更など、もっと柔軟さも必要。

早川副議長

(1) 議会と当局は一体ではなく、議論を尽くすこと。

(2) 何事も議会に知らせ、調整を図る。

住民と議会及び議会運営

(1) 議会の公開

(2) 一般質問の時間、項目

五十里議長

(1) 常に開かれた状態を保持し、町有施設でのテレビ中継等は、もう少し拡大する。

(2) 時間制限は必要。項目は絞って内容を深めてほしい。

早川副議長

(1) すべて公開すべき。選ばれたものの義務。

(2) 質問は簡潔に。再質問の時間を保障することが必要。

議会広報編集特別委員会

副委員長 九里 郁子

編集の窓

◇6月1日から、新食糧法が施行された。

米はコンビニ、スーパー、ガソリンスタンド等で販売されている。

パチンコの景品として、重宝されているとか。「食糧を粗末にした国」は滅びると聞くが、将来が思いやられる。

◇ショッピング・タウンの建設が急ピッチで進んでいる。今議会でもコスモ21、市街地商店街との商業の三極化が大きな論議を呼んだ。町当局と商工会がスクラムを組んで、対応に当たる必要がある。

◇新川2市3町が拠点都市指定を受けた。

各市町間の理解と連携、協力が不可欠である。

役割り分担を自覚し、それぞれエゴを捨て、地域全体を活性化する視野が望まれる。

議会広報編集特別委員会

委員長 板川清治
副委員長 九里郁子
委員 福沢憲一
本多幸男

早川誠一
五十里隆章